

第3回 武庫川水系河川整備計画

フォローアップ委員会

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書（案）

[平成25年度版] の概要

～ 平成24年度の主な取り組み ～

平成25年10月29日

兵庫県

目次

武庫川水系河川整備計画 進行管理報告書(案)の概要 ～平成24年度の主な取り組み～

1. 進行管理方法（PDCA）の概要
2. 進行管理報告書一覧表
3. 各対策の概要図（河川対策、流域対策、減災対策）
4. 平成24年度取り組み状況
 - 河川対策
 - 流域対策
 - 減災対策
 - 正常流量の確保
 - 動植物の生活環境の保全・再生
 - 流域連携

1. 進行管理方法（PDCA）の概要

1-1. 進行管理に関する河川整備計画の記述

<武庫川水系河川整備計画(平成23年8月)P.80 抜粋>

本計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理、フォローアップ委員会の設置を行うとともに、地域住民等との情報の共有化を図る。

(1) 河川整備計画の進行管理

PDCAサイクルの考え方に基づいた進行管理を図る仕組みを導入することとし、どのような進行管理の仕組みが可能か検討を行ったうえで、下記のフォローアップ委員会の意見を聴き、具体化を図る。

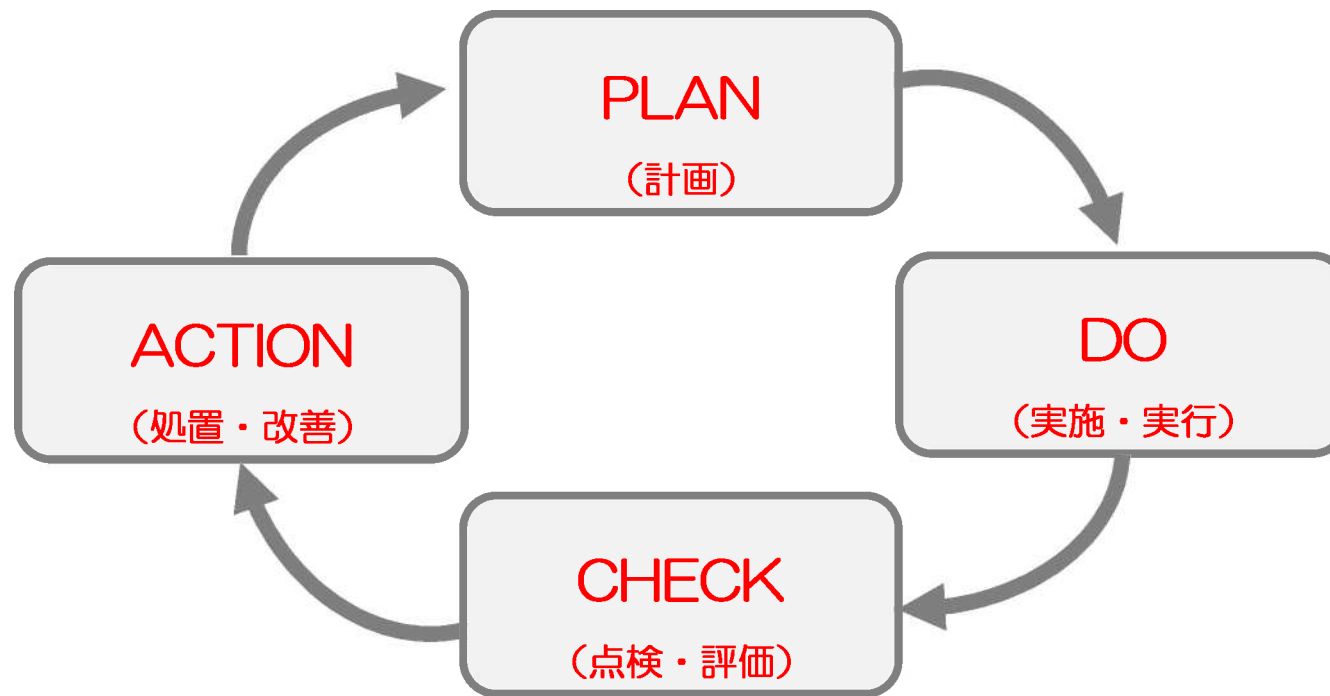
(2) フォローアップ委員会の設置

新たに、学識経験者と地域住民で構成するフォローアップ委員会を設け、施策や事業の実施状況等を、定期的に委員会に報告し意見を聴く。

また、PDCAサイクルによる進行管理の仕組みが具体化した段階で、施策や事業の実施状況の点検・評価を行い、それをフォローアップ委員会に報告することで説明責任を果たすとともに、委員会から意見を聴いて整備計画の次なる進行と改善につなげていく。

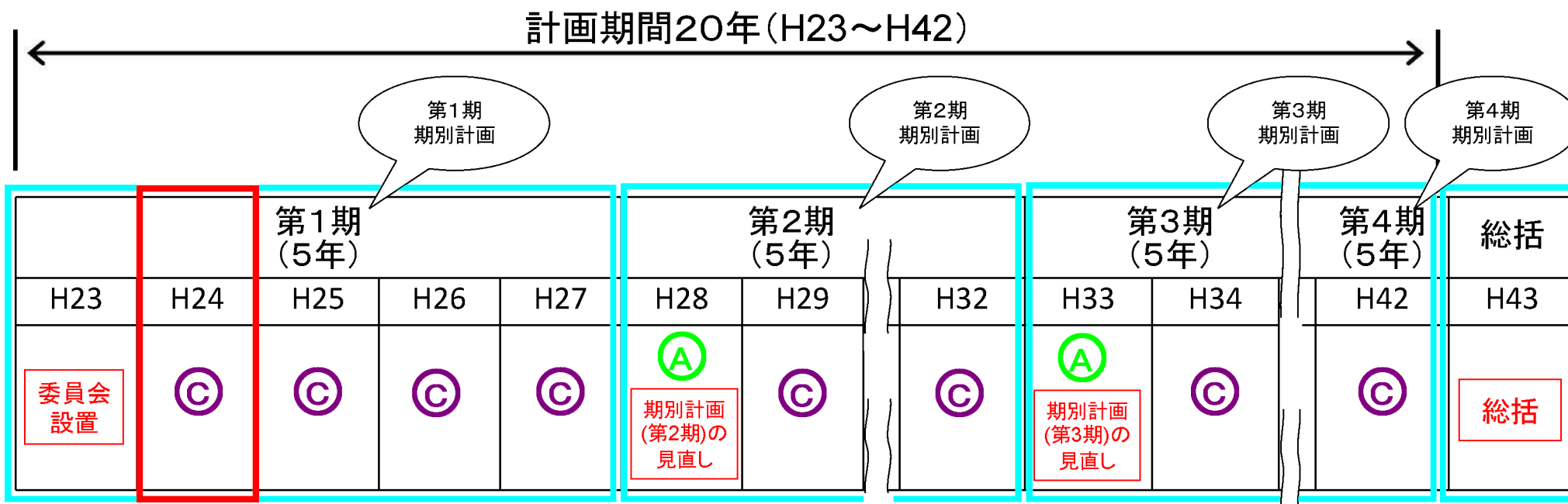
1-2. PDCAサイクルとは

PDCAサイクルとは、計画(Plan)→実施・実行(Do)→点検・評価(Check)→処置・改善(Action)を繰り返しながら、計画の継続的な改善を図る進行管理の手法。



1-3. 武庫川水系河川整備計画の着実な推進を図るしくみ

- ① 計画期間20年(H23～H42)を4分割して5年を1サイクルとし、5年度毎に期別計画を定め、これを目標として取り組みを推進する。
- ② 毎年度、委員会の意見を聴いて、期別目標の達成に向けての微修正を加えながら各年度の取り組みを行う。
 - … (C) Check
- ③ 5年に1度検証を行い、その結果を次の期別計画に反映する。
 - … (A) Action




1-4. 進行管理（PDCA）の具体的進め方（1）

河川整備計画より抽出した実施目標毎（全22組）に、3種類の点検票（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を用いて進行管理。

[点検票Ⅰ]	・第1期～第4期の「期別計画(P)」
[点検票Ⅱ]	・毎年度（第1期:H23～H27）の「実績(D)」
[点検票Ⅲ]	・毎年度の「点検結果(C)」、5年毎の「事業の改善(A)」

[点検票Ⅰ] ・第1期～第4期の「期別計画(P)」

河川整備計画の 事項・項目	第4章 河川整備の実施に関する事項 第〇節 ○○○○ 1 ○○○○ (1) ○○○○			
実施目標	△△△△……………△△△△を図る。			
1. 施策の概要				
△△△△……………△△△△し、……………△△△△する。				
2. 期別計画(P)				
河川整備 計画の 事項・項目	取組方針	点検指標	期別計画(P)	
			第1期 (H23～H27)	第2期 (H28～H32)
				

1-4. 進行管理（PDCA）の具体的進め方（2）

[点検票Ⅱ] ・毎年度(第1期:H23~H27)の「実績(D)」

3. 進捗状況(第1期(H23~H27))								
河川整備 計画の 事項・項目	取組方針	点検指標	期別計画(P) (第1期)	実績(D)				
				H23	H24	H25	H26	H27
				毎年度の実績を記入				

[点検票Ⅲ] ・毎年度の「点検結果(C)」、5年毎の「事業の改善(A)」

4. 点検・評価(C)及び改善(A) (第1期(H23~H27))	
年度毎の点検結果(C) (H23点検結果) 毎年度の点検結果を記入 (H24点検結果)	事業の改善(A) ※第1期の総括 5年毎の改善方策を記入

毎年度の改善
方策について
も記載

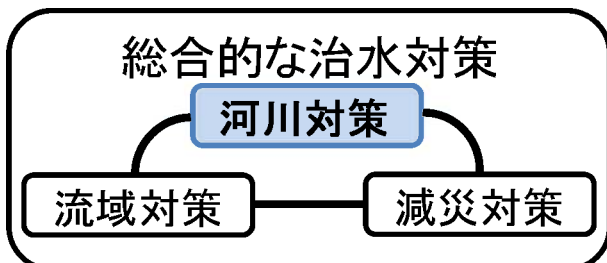
第2期(H28~H32)の期別計画への反映

2. 進行管理報告書一覧表

管理番号	大項目 (対策名)	内容
1	河川対策	下流部築堤区間
2		下流部掘込区間
3		中流部
4		上流部及び支川
5		堤防強化（支川）
6		堤防強化（下流部築堤区間）
7		遊水地、青野ダム活用
8		洪水調節施設の継続検討 （千苅ダム治水活用検討）
9	流域対策	流域対策
10	減災対策	減災対策
11	正常流量の確保	

管理番号	大項目 (対策名)	内容
12	緊急時の水利用	
13	健全な水循環の確保	
14	動植物の生活環境 の保全・再生	2原則の適用
15		天然アユが遡上する川づくり
16	良好な景観の保全・創出	
17	人と河川の豊かなふれあいの確保	
18	水質向上	
19	維持管理	
20	流域連携	
21	モニタリング	
22	フォローアップ	

3-1. 各対策の概要図 ①河川対策

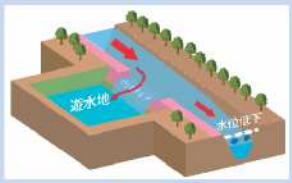


①下流部築堤区間の整備
・矢板護岸工事 ・ドレーン工事



②中流部(武田尾地区)
・築堤、護岸等の設置

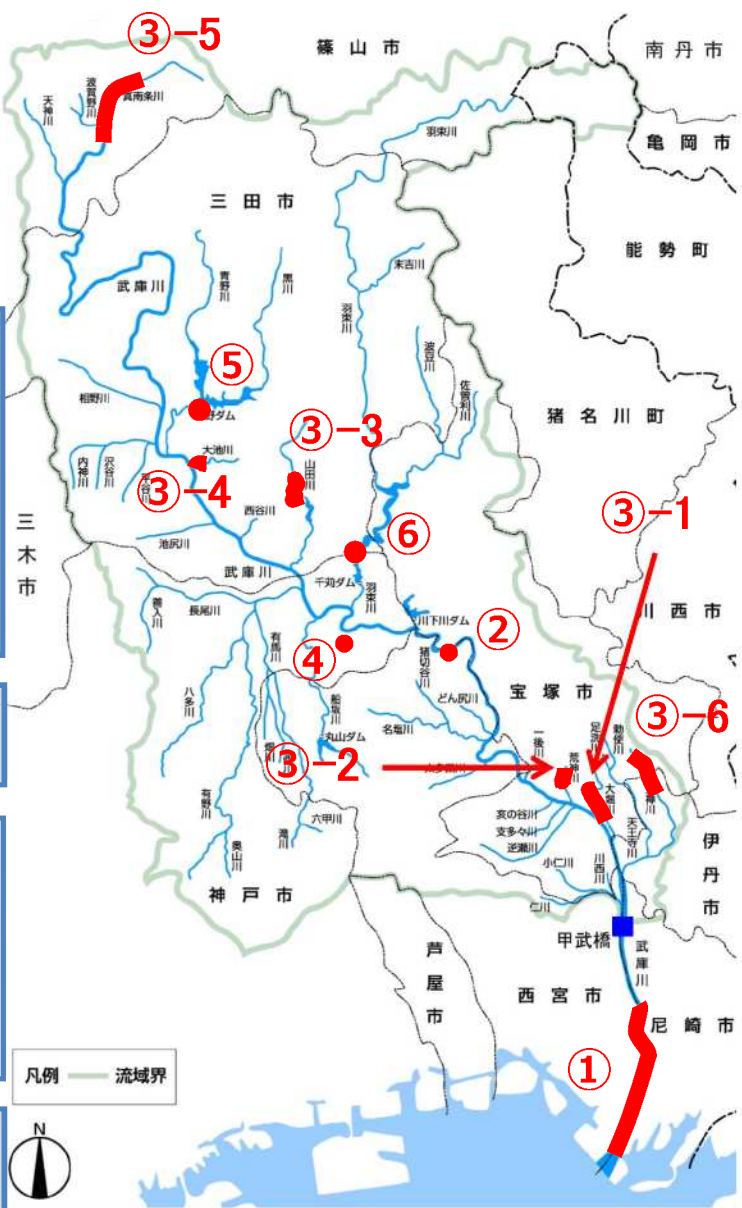
④遊水地の整備



⑤青野ダムの活用



⑥千苅ダム
・事前放流による治水活用の検討



③上流部及び支川の整備

- 1) 大堀川(宝塚市) 2) 荒神川(宝塚市)

橋梁架替



護岸整備



- 3) 山田川(三田市) 4) 大池川(三田市)

護岸整備



橋梁架替



- 5) 上流武庫川(篠山市) 6) 天神川(伊丹市)

河道掘削



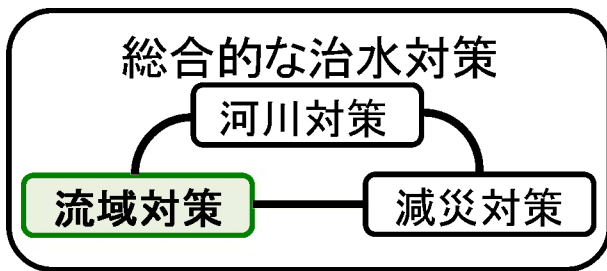
堤防強化



● 平成24年度対策区間および箇所

図. 二級河川武庫川流域図

3-2. 各対策の概要図 ②流域対策



①校庭貯留整備

- ・【整備完了】宝塚東高校、阪神昆陽高校
- ・【事業着手】三田西陵高校

②森林整備・保全

- ・人工林間伐、表土侵食防止、混交林整備
- (神戸市、宝塚市、三田市、篠山市)



③ため池および水田貯留 広報チラシによる普及啓発

④調整池

- ・県は重要調整池の設置に関する技術基準を策定
- ・以下の4市は県よりも小さな開発規模でも調整池設置指導を実施 (神戸市、西宮市、伊丹市、宝塚市)

⑤雨水貯留タンク助成

- ・尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市で実施

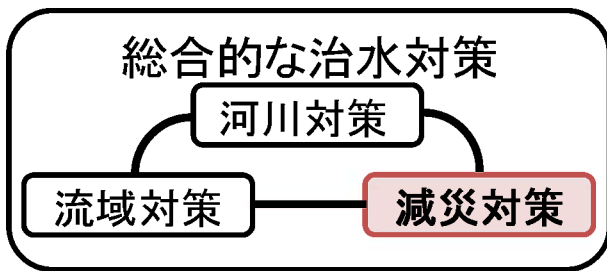
⑥道路側溝等の浸透化

- ・県はガイドライン(改訂版)策定
- ・開発者及び市で施工 (尼崎市)

● 校庭貯留施設整備箇所
 □ 雨水貯留タンク助成市

図. 二級河川武庫川流域図

3-3. 各対策の概要図 ③減災対策



①知る(水害リスクに対する認識の向上)

- ・手作りハザードマップの作成による水害リスクを知る機会の提供
(尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、三田市、篠山市)
- ・CGハザードマップの継続公開
- ・出前講座、職員研修による防災の担い手となる人材育成



②守る(情報提供体制の充実、水防体制の強化)

- ・避難情報を伝達するための河川監視カメラの継続配信(10箇所)(●印)
- ・水位及び氾濫予測やサイレン、回転灯による河川情報の伝達
- ・土のう積訓練、人命救助訓練の実施



③逃げる(的確な避難のための啓発)

- 自助の取組の推進
 - ・ひょうご防災ネットの加入促進
- 共助の取組の推進
 - ・要援護者の情報共有、支援登録台帳の整備
(西宮市、伊丹市、三田市、篠山市)
- 公助の取組の推進
 - ・避難経路、避難所の屋外表示
(西宮市、伊丹市)
 - ・津波避難ビルの洪水時活用
(西宮市、尼崎市)



④備える(水害に備えるまちづくり、水害からの復旧の備え)

- ・建物耐水機能に係る指針策定による重要施設浸水対策の推進
- ・水害に備えるためのフェニックス共済等への加入促進



図. 二級河川武庫川流域図

4-1. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号1

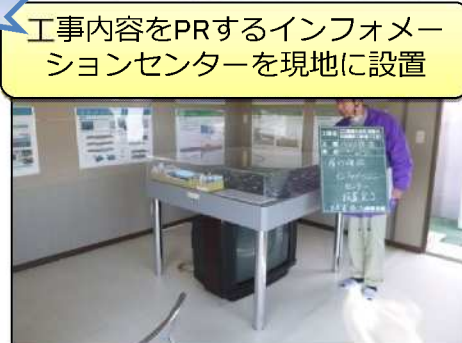
対策の概要

対策項目：下流部築堤区間（河口～JR東海道線橋梁下流）
 工事概要：低水路拡幅のための矢板護岸工事
 対策箇所：西宮市上田東町 No. 11+1.9～No. 14+73（右岸）
 施工延長：371m

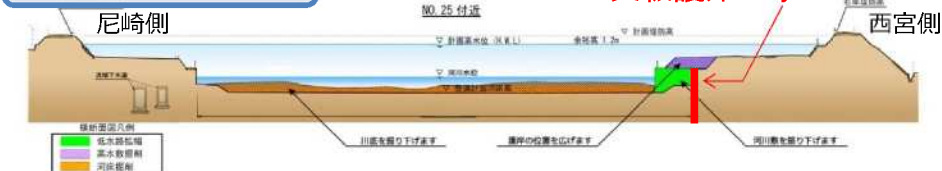
進捗率



施工箇所図



河川整備断面図



流域図



4-2. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号2

対策の概要

対策項目：下流部掘込区間（仁川合流点～名塩川合流点）

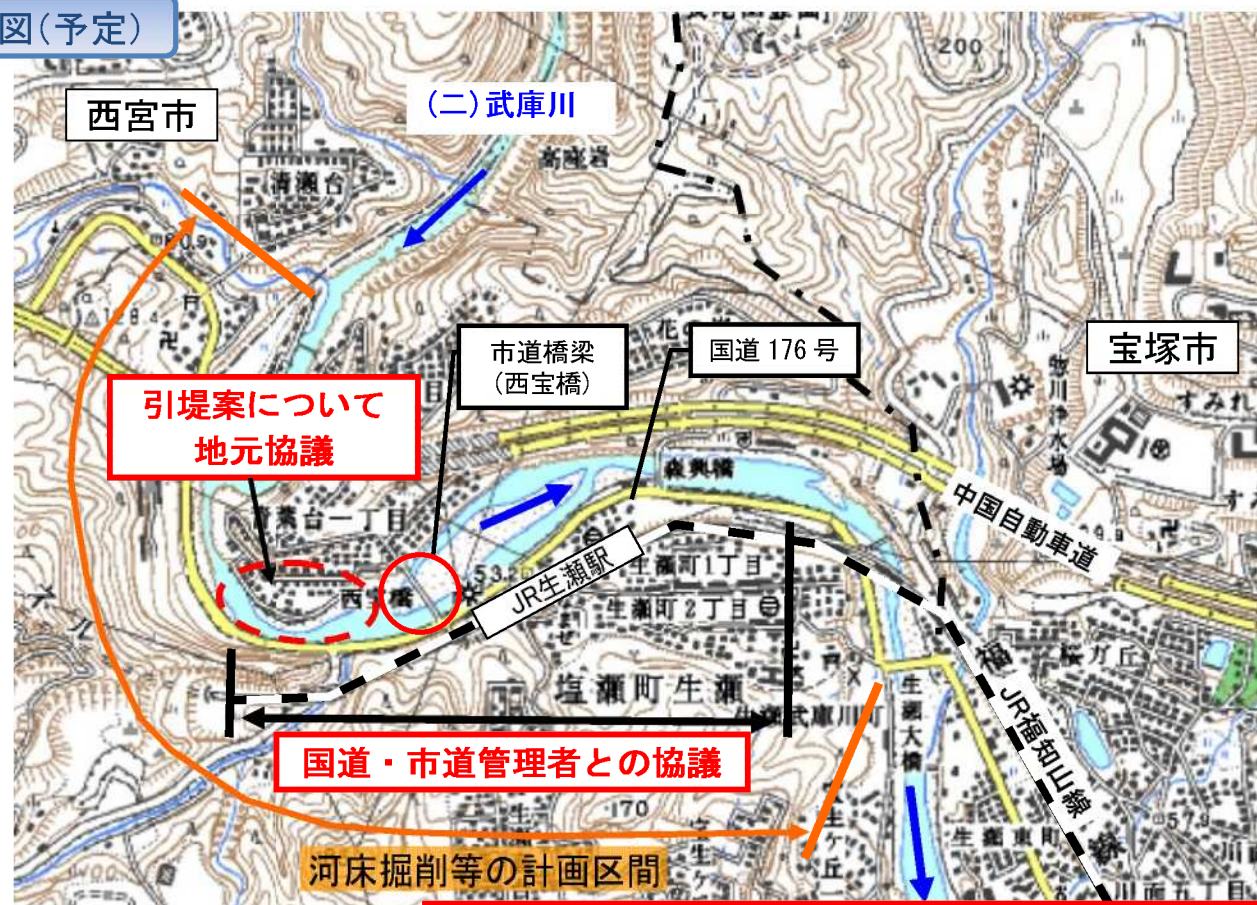
工事概要：河床掘削等

対策箇所：生瀬大橋～名塩川合流点

平成24年度取り組み

- ・引堤案を提示後、地元協議を継続
- ・国道及び市道管理者との協議を継続

概要図(予定)



流域図



4-3. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号3

対策の概要

対策項目：中流部（名塩川合流点～羽束川合流点）
 工事概要：護岸等の設置
 対策箇所：武田尾（住宅地区）

平成24年度取り組み

- ・ 県道付替詳細設計
- ・ 用地補償
- ・ 土地区画整理組合の設立に向けた支援

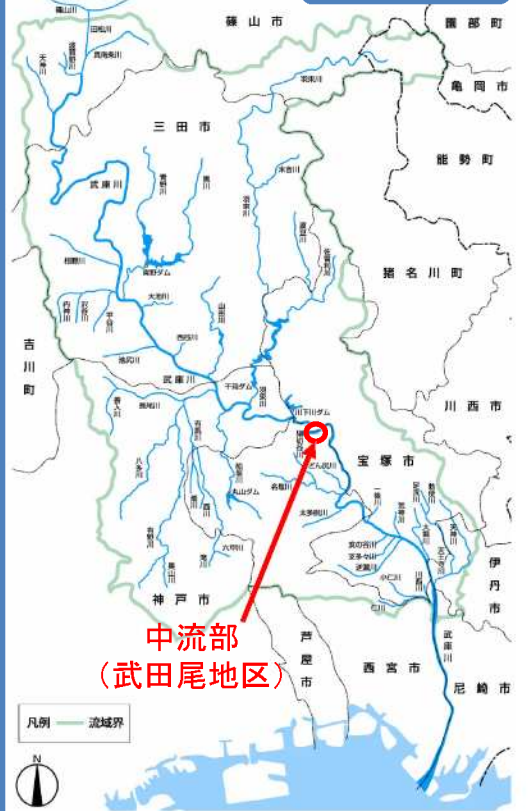
概要図(予定)



河川整備断面図



流域図



4-4. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号4

対策の概要

対策項目：上流部（羽東川合流点～本川上流端）及び支川
 工事概要：河道掘削、護岸工、橋梁架替等
 対策箇所：上流武庫川（篠山市），山田川（三田市），大堀川（宝塚市）等
 施工延長：367m（上流武庫川200m，山田川157m，大堀川10m）

上流武庫川（篠山市）
：河道掘削 L=200m

施工前



施工後



山田川（三田市）
：護岸工 L=157m

施工前



施工後



大堀川（宝塚市）
：橋梁架替

PC橋工_架設工

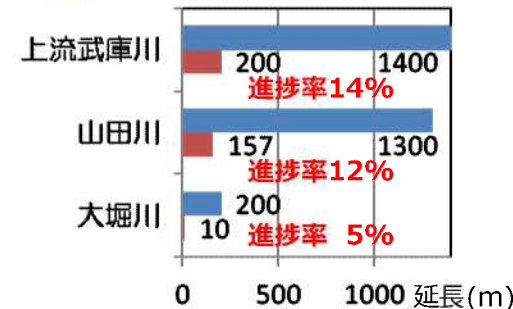


大堀川（PC橋工_竣工）



進捗率

- 第1期対策予定延長
- 平成24年度末対策延長



流域図

4-5. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号5

対策の概要

対策項目：天神川の堤防強化
 工事概要：堤防強化（表のり面被覆工による浸透対策）
 対策箇所：伊丹市北野 No. 15+40～No. 15+110
 施工延長：70m



進捗率

施工箇所図



① 遮水シート敷設



② 連節ブロック設置



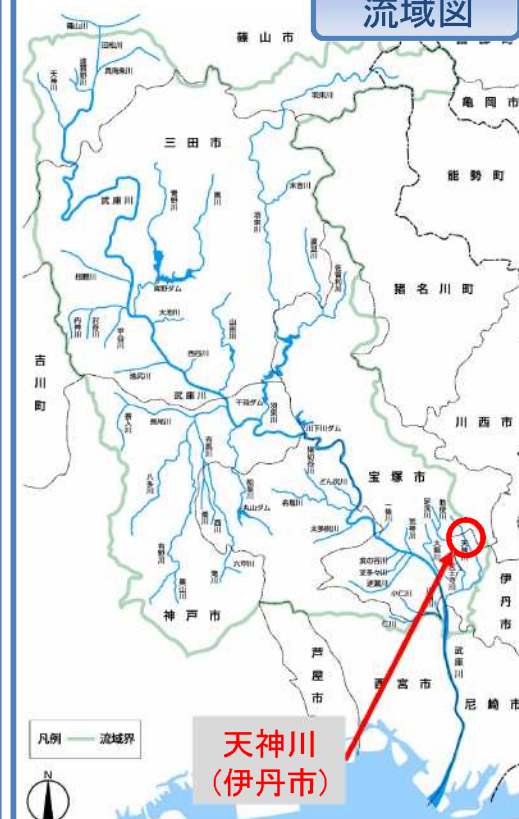
③ 植生工



④ 施工後



流域図



4-6. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号6

対策の概要

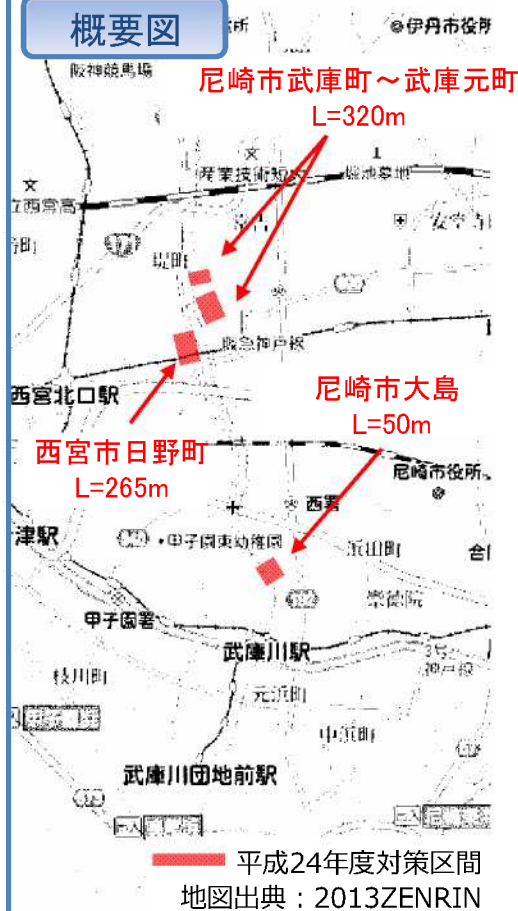
対策項目：下流部築堤区間の堤防強化(南武橋～仁川合流点)
 工事概要：堤防強化(ドレーン工法)
 対策箇所：尼崎市武庫町、大島、西宮市日野町
 施工延長：635m

■ 第1期対策予定延長
 ■ 平成24年度末対策延長

進捗率



概要図



ドレーン工法

かごマット設置



土羽打整形



流域図



4-7. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

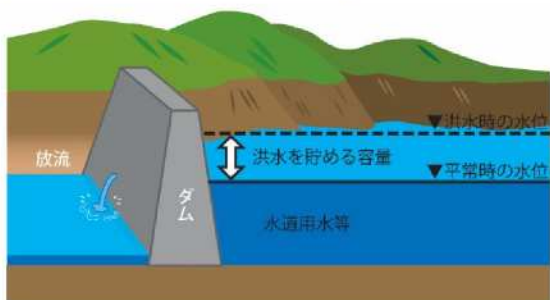
管理番号7

対策の概要

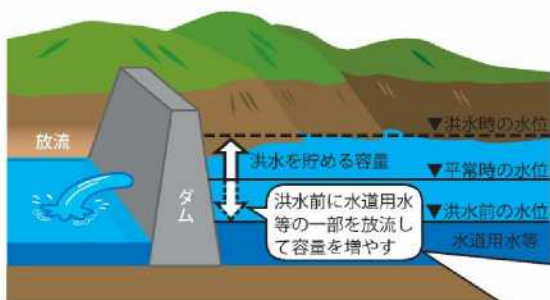
対策項目 : 洪水調整施設の整備

対策概要 : ①青野ダムを活用、②新規遊水地の整備

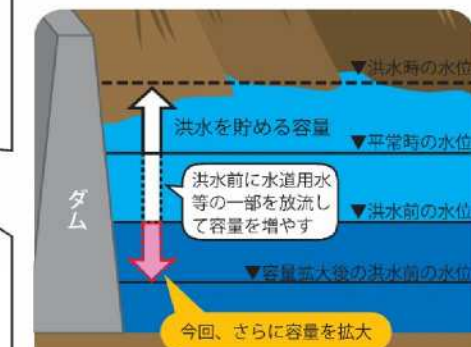
①青野ダムの活用



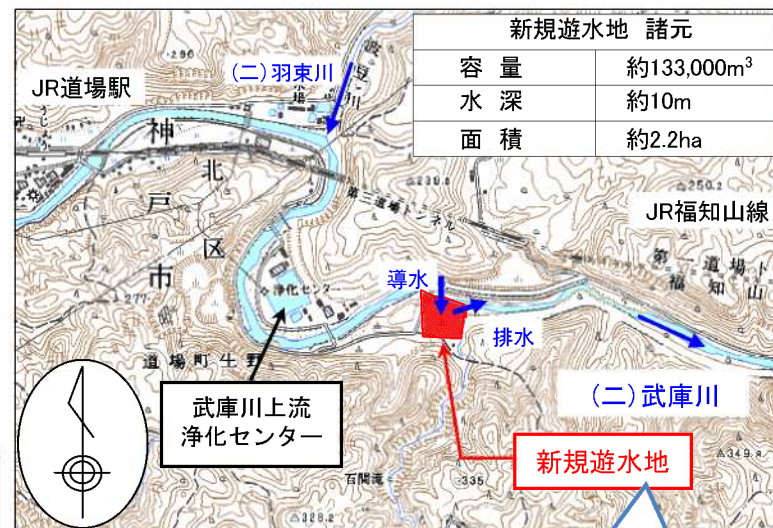
・青野ダム放流の
試行操作を継続
実施中



今回、この容量をさらに拡大します。



②新規遊水地の整備



予備設計を実施

新規遊水地 整備横断イメージ



課題: 事前放流は、渇水リスクや下流部の水位上昇への影響等の検証が必要

4-8. 平成24年度の主な取り組み状況 - 河川対策 -

管理番号8

対策の概要

対策項目：洪水調整施設の整備及び継続検討

対策概要：千苺ダム治水活用や新規ダム建設等の必要性・実現性の検討



事前放流による暫定的な活用の可能性について検討に着手

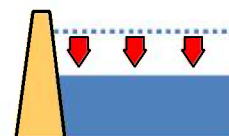
■ 平常時



貯水施設

大雨が降りそう...

■ 大雨に備えて



事前放流等を行い、雨水貯留容量を確保

大雨

■ 大雨時



あらかじめ容量を空けておいたことにより貯留

雨水を貯留



千苺ダムの写真

課題：治水活用については渇水リスク等の課題があるため、さらなる検討が必要

4-9. 平成24年度の主な取り組み状況 – 流域対策 –

管理番号9
(1/5)

対策の概要

対策項目：(1) 貯留施設の設置による流出抑制対策の実施
 対策概要：学校、公園等を利用した貯留施設等の整備
 対策箇所：【H24整備完了】県立宝塚東高校(宝塚市)、県立阪神昆陽高校(伊丹市)
 【事業着手】県立三田西陵高校(三田市)



課題：貯留施設整備には施設所有者の理解と協力が不可欠

対策の概要

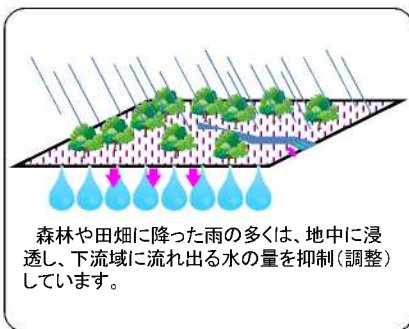
対策項目：(2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要：①調整池の設置指導

条例による義務化(総合治水条例 第10条～第20条)

開発行為(土地の形質を変更する行為)によって、周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まると認められたときは、雨水を一時的に貯留し、雨水の流出を抑制する「調整池」を設置するようしなければならない。

- 1ha以上の開発：重要調整池を設置、維持管理の義務化(平成25年4月～)
- 1ha未満の開発：調整池設置、維持管理の努力義務化
- 既存調整池：指定調整池の指定、維持管理の義務化

開発行為前



開発行為後

● 調整池を設置しなかった場合



水路や河川への流出量増加!

(土地の流出係数が開発行為前よりも増加) 周辺地域に浸水被害を発生させる可能性が高まる。

● 調整池を設置した場合



水路や河川への流出量を抑制

重要調整池の設置に関する技術基準の策定

重要調整池の設置に関する技術的基準及び解説

平成25年4月
兵庫県

イメージ写真(調整池)



4-11. 平成24年度の主な取り組み状況 - 流域対策 -

管理番号9
(3/5)

対策の概要

対策項目： (2) 様々な流出抑制対策の推進
対策概要： ②森林保全と公益的機能向上

森林保全

森林を整備・保全し、水源かん養や土砂流出を防止する。

間伐・作業道の開設



緊急防災林（斜面对策）



高性能林業機械による搬出間伐



針葉樹林と広葉樹林の混交林



課題：木材価格の低迷などにより、森林所有者の間伐等森林整備への意欲が停滞

4-12. 平成24年度の主な取り組み状況 – 流域対策 –

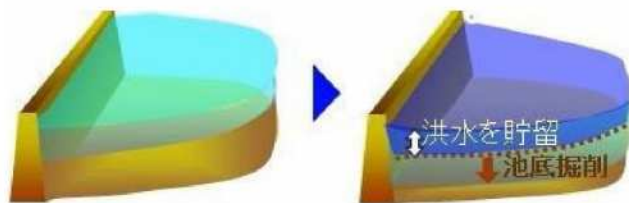
管理番号9
(4/5)

対策の概要

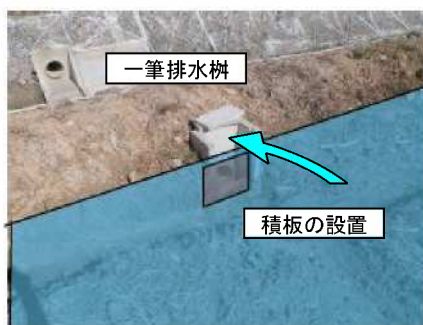
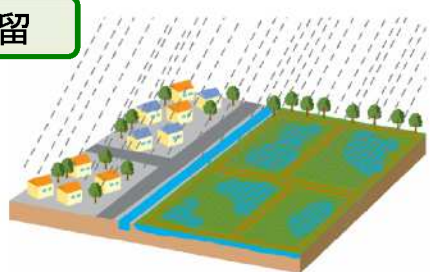
対策項目：(2) 様々な流出抑制対策の推進
 対策概要：③ため池、水田への雨水貯留

ため池貯留

池底の掘削など → 容量増



水田貯留



水田貯留、ため池貯留に係る広報チラシを作成し、普及啓発を実施

ため池、水田の雨水貯留 Q&A

Q1: 水田貯留に取り留める補助事業は？
 A1: 水田貯留は、農地・本保会管理委託交付金制度を活用することが可能です。高い効果、向上活動ともに交付金の対象活動として認められています。

Q2: 水田貯留は、稲の生育に影響はないの？
 A2: 稲が水浸ししない取り留に問題ありません。稲が根が20cm以上になってから取り留んで下さい。

Q3: 重要農地の水田やため池でも実施可能ですか？
 A3: 整備済みの水田やため池を対象としています。

お問い合わせは兵庫県庁もしくは近くの県民局へ

【県庁】
 農地整備課 池田課長 TEL:079-982-1011 〒650-8567 神戸市中央区下山手通
 (ため池) 池田課長 TEL:079-982-1432 〒650-8567 神戸市中央区下山手通

【県民局】
 神戸市東灘区新土地区役所センター TEL:078-361-8000 〒650-8502 神戸市東灘区中山手通6-1-1
 三木市長谷川町農林事務所 TEL:079-543-8013 〒629-1214 三木市大井1-10-14
 北播磨長井町土地区域土地改良事務所 (水田用地区) TEL:0791-42-4111 〒673-8423 三木市長井町寺前30
 (宅地用地区) TEL:0791-42-4629 *
 中播磨長井町土地区域土地改良センター TEL:079-341-3100 〒676-8917 姫路市美土1丁目6-6
 新播磨長井町土地区域土地改良センター TEL:0791-96-2218 〒678-1208 赤穂市上郡町古部2丁目25
 尾道市長谷川町土地区域土地改良センター TEL:0794-26-2116 〒688-0128 豊岡市寺町7-11
 姫路市土地区域センター TEL:079-672-6986 〒689-5202 姫路市山手町東部113-95
 丹波市長瀬山土地区域事務所 TEL:079-323-2489 〒669-2214 篠山町篠山451-2
 淡路市長瀬山土地区域事務所 TEL:0799-26-2116 〒636-0024 洲本市電院2丁目4-5

平成25年3月発行

始めませんか！ため池や水田での雨水貯留

近年、浸水被害が大きくなっています。

〇近年、都市化の進捗や局地的な集中豪雨の発生で、従来よりも雨水の流出が増え、浸水による被害が拡大しています。対策を知りようが河川整備に加えて、みんなの地域をみんなでする治水が必要となってきています。

〇ため池や水田には雨水を一時的に貯留する田水ダムのような機能も備わっています。ため池や水田も維持管理し、少しの工夫をみんなですれば、大きな洪水防止効果が期待できます。

知っていますか。

〇ため池や水田には雨水を一時的に貯留する田水ダムのような機能も備わっています。ため池や水田も維持管理し、少しの工夫をみんなですれば、大きな洪水防止効果が期待できます。

ため池や水田での雨水貯留の効果

〇もし県内全域の播磨川水田で1日1cmの雨水を貯留した場合、4億5千万トンの保水効果があります。(東京ドーム338杯相当)。このような大きな効果が期待できる雨水貯留。みんなの地域をみんなでする治水を助めませんか。

都市化や局地的な集中豪雨の発生により、浸水被害が拡大。

ため池や水田に一時的に貯留して、洪水ピークを減らします。

洪水貯留しない場合の洪水量
 この部分が1週間分
 保水(貯留)

この水田や水田に、特殊な排水装置を設置し、浸水被害を軽減。

留の取組方法

56cmの鉄板で仮設に溝を作る

1. 溝を掘る

2. 溝に鉄板を敷く

3. 溝の両側に土を盛り上げる

4. 溝の両側に土を盛り上げる

5. 溝の両側に土を盛り上げる

6. 溝の両側に土を盛り上げる

7. 溝の両側に土を盛り上げる

8. 溝の両側に土を盛り上げる

9. 溝の両側に土を盛り上げる

10. 溝の両側に土を盛り上げる

11. 溝の両側に土を盛り上げる

12. 溝の両側に土を盛り上げる

13. 溝の両側に土を盛り上げる

14. 溝の両側に土を盛り上げる

15. 溝の両側に土を盛り上げる

16. 溝の両側に土を盛り上げる

17. 溝の両側に土を盛り上げる

18. 溝の両側に土を盛り上げる

19. 溝の両側に土を盛り上げる

20. 溝の両側に土を盛り上げる

21. 溝の両側に土を盛り上げる

22. 溝の両側に土を盛り上げる

23. 溝の両側に土を盛り上げる

24. 溝の両側に土を盛り上げる

25. 溝の両側に土を盛り上げる

26. 溝の両側に土を盛り上げる

27. 溝の両側に土を盛り上げる

28. 溝の両側に土を盛り上げる

29. 溝の両側に土を盛り上げる

30. 溝の両側に土を盛り上げる

31. 溝の両側に土を盛り上げる

32. 溝の両側に土を盛り上げる

33. 溝の両側に土を盛り上げる

34. 溝の両側に土を盛り上げる

35. 溝の両側に土を盛り上げる

36. 溝の両側に土を盛り上げる

37. 溝の両側に土を盛り上げる

38. 溝の両側に土を盛り上げる

39. 溝の両側に土を盛り上げる

40. 溝の両側に土を盛り上げる

41. 溝の両側に土を盛り上げる

42. 溝の両側に土を盛り上げる

43. 溝の両側に土を盛り上げる

44. 溝の両側に土を盛り上げる

45. 溝の両側に土を盛り上げる

46. 溝の両側に土を盛り上げる

47. 溝の両側に土を盛り上げる

48. 溝の両側に土を盛り上げる

49. 溝の両側に土を盛り上げる

50. 溝の両側に土を盛り上げる

51. 溝の両側に土を盛り上げる

52. 溝の両側に土を盛り上げる

53. 溝の両側に土を盛り上げる

54. 溝の両側に土を盛り上げる

55. 溝の両側に土を盛り上げる

56. 溝の両側に土を盛り上げる

57. 溝の両側に土を盛り上げる

58. 溝の両側に土を盛り上げる

59. 溝の両側に土を盛り上げる

60. 溝の両側に土を盛り上げる

61. 溝の両側に土を盛り上げる

62. 溝の両側に土を盛り上げる

63. 溝の両側に土を盛り上げる

64. 溝の両側に土を盛り上げる

65. 溝の両側に土を盛り上げる

66. 溝の両側に土を盛り上げる

67. 溝の両側に土を盛り上げる

68. 溝の両側に土を盛り上げる

69. 溝の両側に土を盛り上げる

70. 溝の両側に土を盛り上げる

71. 溝の両側に土を盛り上げる

72. 溝の両側に土を盛り上げる

73. 溝の両側に土を盛り上げる

74. 溝の両側に土を盛り上げる

75. 溝の両側に土を盛り上げる

76. 溝の両側に土を盛り上げる

77. 溝の両側に土を盛り上げる

78. 溝の両側に土を盛り上げる

79. 溝の両側に土を盛り上げる

80. 溝の両側に土を盛り上げる

81. 溝の両側に土を盛り上げる

82. 溝の両側に土を盛り上げる

83. 溝の両側に土を盛り上げる

84. 溝の両側に土を盛り上げる

85. 溝の両側に土を盛り上げる

86. 溝の両側に土を盛り上げる

87. 溝の両側に土を盛り上げる

88. 溝の両側に土を盛り上げる

89. 溝の両側に土を盛り上げる

90. 溝の両側に土を盛り上げる

91. 溝の両側に土を盛り上げる

92. 溝の両側に土を盛り上げる

93. 溝の両側に土を盛り上げる

94. 溝の両側に土を盛り上げる

95. 溝の両側に土を盛り上げる

96. 溝の両側に土を盛り上げる

97. 溝の両側に土を盛り上げる

98. 溝の両側に土を盛り上げる

99. 溝の両側に土を盛り上げる

100. 溝の両側に土を盛り上げる

課題: 水田貯留に関する農業者の不安(畦や作物への影響)

4-13. 平成24年度の主な取り組み状況 - 流域対策 -

管理番号9
(5/5)

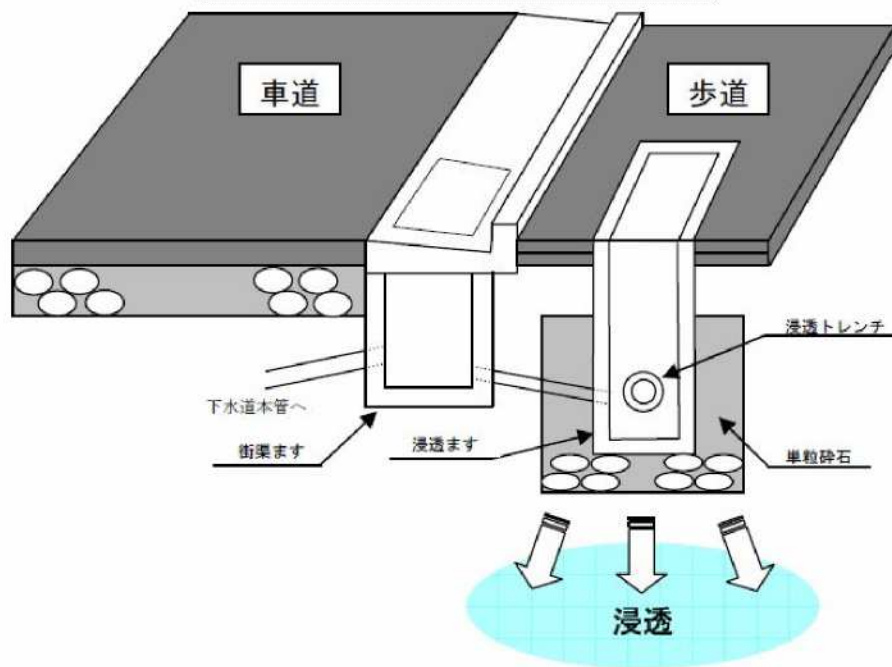
対策の概要

対策項目：(2) 様々な流出抑制対策の推進
対策概要：④ その他の雨水貯留・浸透の取り組み

道路側溝等の浸透化

県は、都市部での道路の新設・改築・補修等に
あわせて、浸透側溝の導入を進めるために、
「浸透側溝設置ガイドライン（改訂版）」を策定

道路浸透柵の標準的な構造



各戸への雨水貯留タンクの助成基数(流域7市合計)

平成24年度：174基
[累計：937基]

雨水貯留タンク



雨水貯留タンク設置イメージ



4-14. 平成24年度の主な取り組み状況 - 減災対策 (1)知る (1/2) -

管理番号10
(1/6)

対策の概要

対策項目：(1)知る 水害リスクに対する認識の向上

取組概要：①水害リスクを知る機会の提供、②ツールの整備、③防災の担い手の人材育成

①水害リスクを知る機会の提供

住民自らがまちを歩いて手づくりハザードマップを作成



←まち歩き
の状況
(三田市三輪区)

まち歩き
の状況 →
(三田市波豆川区)



③防災の担い手の人材育成

市政出前講座 →
(尼崎市)



↑
住民への出前講座
の状況
(伊丹市)

住民対象の防災研修会 →
の状況 (篠山市)



対策の概要

対策項目：(1)知る 水害リスクに対する認識の向上

取組概要：①水害リスクを知る機会の提供、②ツールの整備、③防災の担い手の人材育成

②水害リスクを知るツールの整備

各市において住民主体で
手づくりハザードマップを作成

手作りHM作成状況 (尼崎市)



作成例【鳴尾東地区防災マップ(西宮市)】

CGHMの継続公開

兵庫県 地域の風水害対策情報
CGハザードマップ ~災害から身を守るために~

兵庫県では、住民の防災意識の向上を図り、災害時に県民がより的確に行動できるように目指して、洪水、土砂災害、津波、高潮、ため池、河川氾濫、ため池、ため池による化膿池(浸水想定区域、危険箇所など)や、避難に必要な避難所などを記載した地域の風水害対策情報(CGハザードマップ)を作成し、ホームページで公開しています。

- 特徴
- ① 5つの自然災害について確認できます。(洪水・土砂災害・津波・高潮・ため池)
 - ② 見たい地点を、郵便番号や住所、主要な施設、地図から簡単に検索ができます。
 - ③ 河川や河川の水位等、災害時に役立つ情報がリアルタイムに確認できます。
 - ④ 災害対策関係のイメージを中心で確認できます。
 - ⑤ 災害の恐ろしさや、避難時の留意事項を学ぶことができます。



兵庫県CGハザードマップ
(地域の風水害対策情報)

対策の概要

対策項目 : (2)守る 情報提供体制の充実と水防体制の強化
 取組概要 : ①避難情報の伝達、②河川情報の伝達、③水防体制の強化

②河川情報の伝達

増水警戒情報の発信による注意喚起

回転灯設置状況



道路アンダーパス部の冠水情報



【字幕式→LED式冠水情報板】



通行止め基準水深表示板

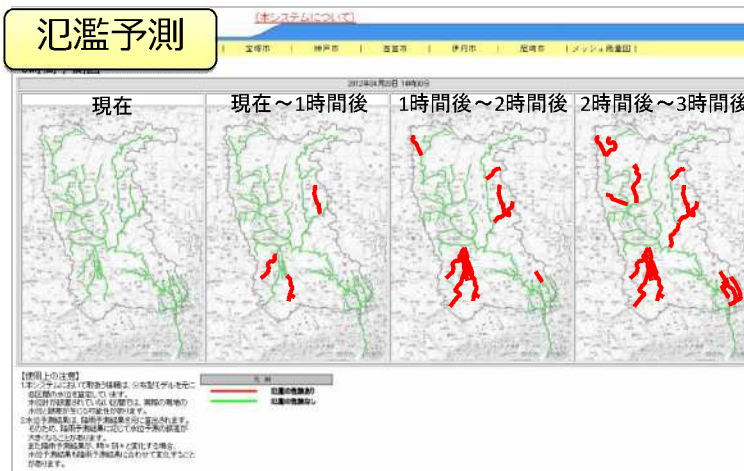
【注意喚起看板等の冠水対策】

フェニックス防災システムによる情報発信

水位予測



氾濫予測



4-17. 平成24年度の主な取り組み状況 - 減災対策 (2)守る (2/2) -

管理番号10
(4/6)

対策の概要

対策項目 : (2)守る 情報提供体制の充実と水防体制の強化
取組概要 : ①避難情報の伝達、②河川情報の伝達、③水防体制の強化

①避難情報の伝達

河川監視カメラによる継続配信



武庫川水系で
10箇所設置し、
継続配信

「兵庫県河川監視カメラシステム」にてWeb上で閲覧可能

③水防体制の強化



←土のう積訓練の状況
(尼崎市)

人命救助研修の状況
↓
(西宮市)



↑図上訓練の状況 (伊丹市)
(洪水を想定した訓練)

4-18. 平成24年度の主な取り組み状況 - 減災対策 (3)逃げる -

管理番号10
(5/6)

対策の概要

対策項目 : (3) 逃げる 的確な避難のための啓発
 取組概要 : ①自助の取組の推進、②共助の取組の推進、③公助の取組の推進

①自助の取組の推進

ひょうご防災ネット加入促進

表. 「ひょうご防災ネット」の加入状況

	新規登録件数	目標
平成23年度	146,200件	40,000 件/年
平成24年度	109,100件	

「ひょうご防災ネット」

防災行政無線、広報車等の既存情報伝達手段に加え、携帯電話のメールやホームページ機能を利用して、災害発生時等の緊急時に、緊急情報(地震情報・津波情報・気象警報)や避難情報等をいち早く県民・市民の方々に発信するシステム
 URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa20/pa20_000000001.html

②共助の取組の推進

災害時要支援者支援登録台帳等の整備、
 情報共有化の取り組みを実施

③公助の取組の推進

津波避難ビル指定・マップ作成、 洪水時活用(西宮市)



避難経路の屋外表示(伊丹市)



看板拡大図

4-19. 平成24年度の主な取り組み状況 - 減災対策 (4)備える -

対策の概要

対策項目 : (4)備える 水害に備えるまちづくりと水害からの復旧の備え
 取組概要 : ①水害に備えるまちづくりの誘導、②重要施設の浸水対策、
 ③水害に備える保険制度の加入促進

①水害に備えるまちづくりの誘導

危険度マップの基礎データの整理、分析を実施

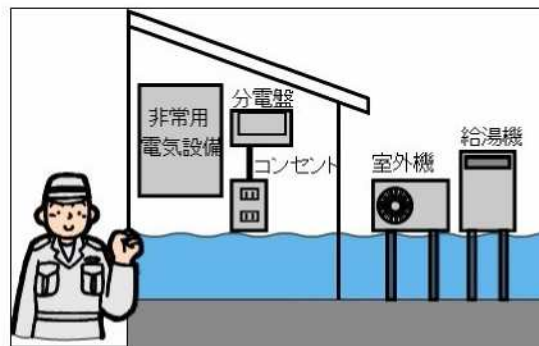
②重要施設の浸水対策

↓県は建物等の耐水機能に関する指針を策定

建築物等の耐水性能に関する指針

兵庫県

電気設備の浸水対策



③水害に備える保険制度の加入促進

フェニックス共済パンフレット



「フェニックス共済」(＝兵庫県住宅再建共済制度)は、住宅所有者に加入いただき、平常時から資金を寄せ合うことにより、災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援する制度

表. フェニックス共済の加入状況 (平成25年3月末時点)

	目標	全県	うち流域市
加入率(%)	15%	8.8%	6.0%

課題: 武庫川流域市のフェニックス共済加入率の低さ

4-20. 平成24年度の主な取り組み状況 - 正常流量の確保 -

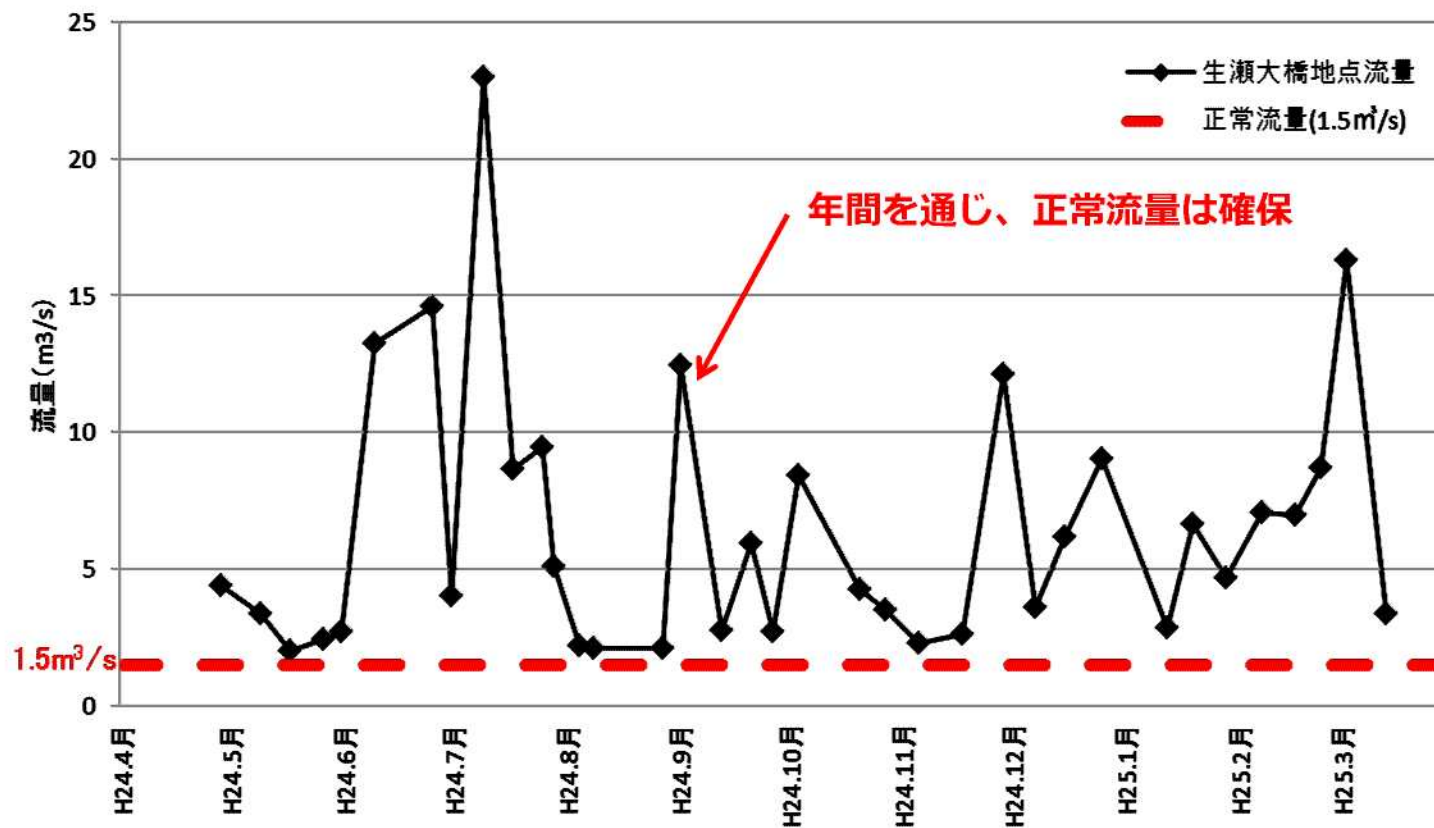
管理番号11

対策の概要

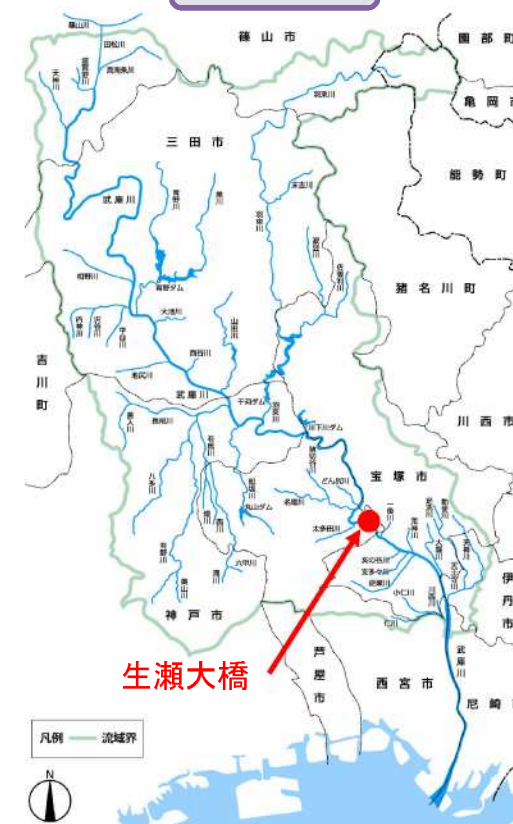
対策項目：正常流量の確保

対策概要：生瀬大橋地点では正常流量(1.5m³/s)を満足しており、今後もより豊かな流量の確保に努める。

生瀬大橋地点の流量(平成24年度)



流域図

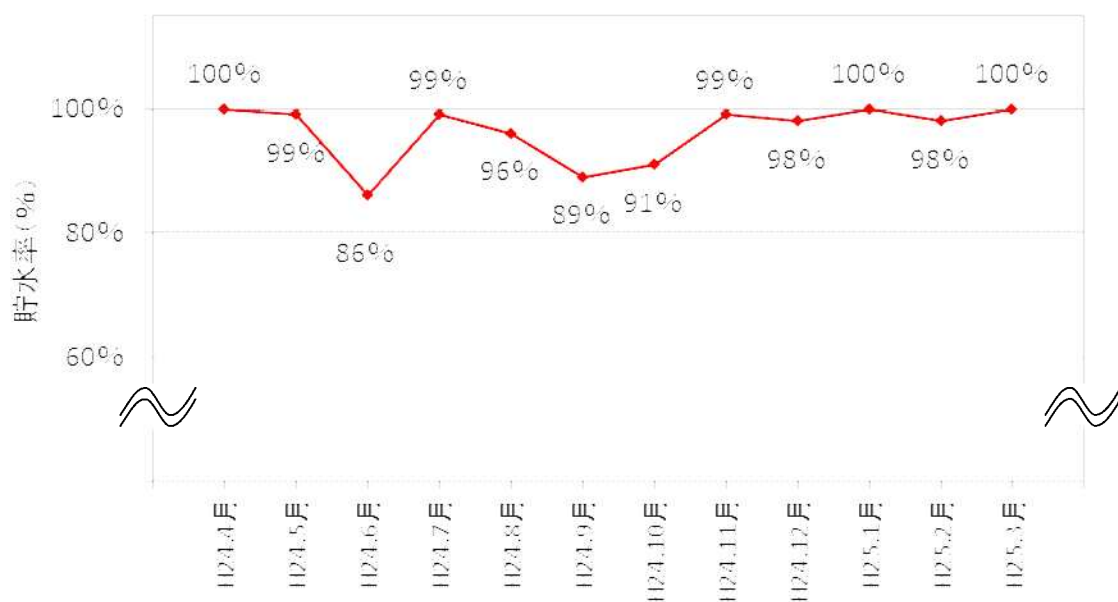


緊急時の水利用

渇水調整会議、緊急時の河川水利用

給水ネットワークの整備

青野ダムの貯水率（平成24年度）



渇水など該当する事案はなかった



西宮市

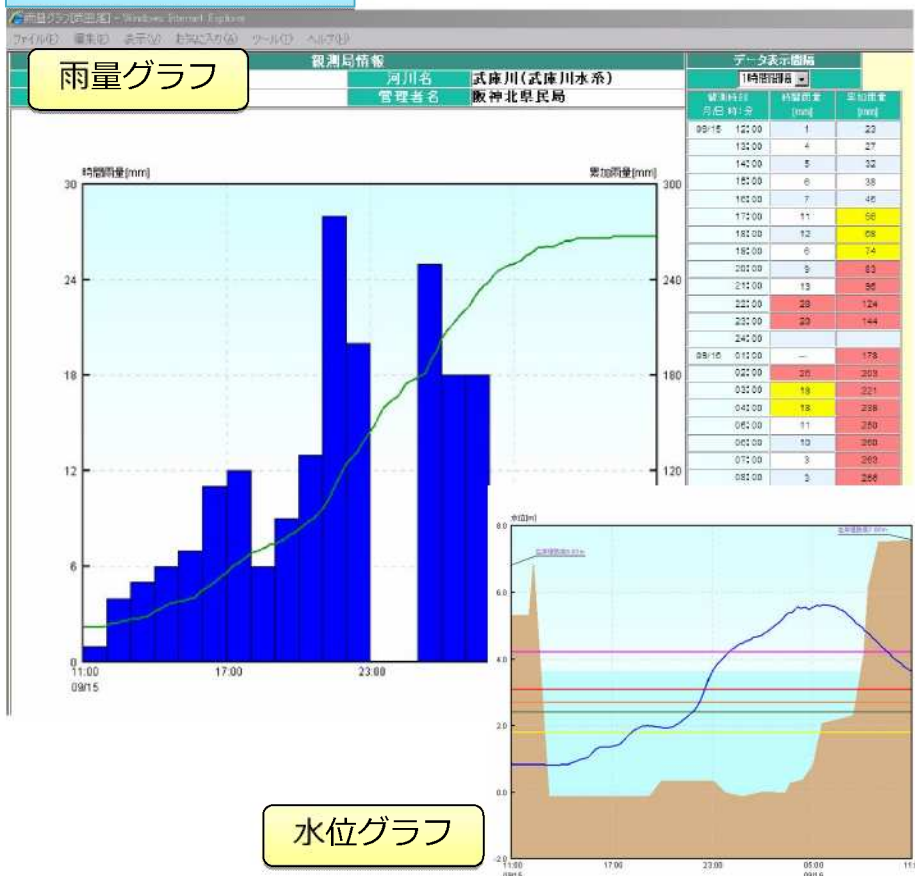
現在の水需要においては、給水車でバックアップが可能のため、当面、パイプライン等の新たな整備は着手しない。

4-22. 平成24年度の主な取り組み状況 - 健全な水循環の確保 -

管理番号13

健全な水循環の確保

流域水循環の把握



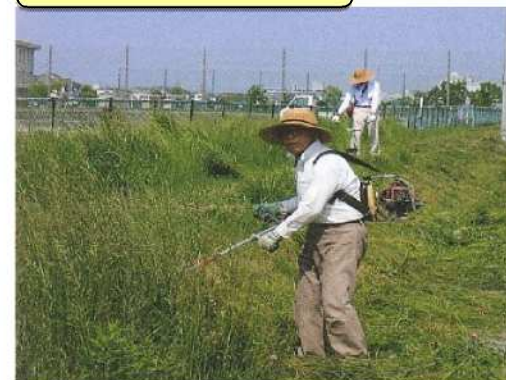
雨量、水位、低水量、地下水位、県管理ダム貯水位等のデータを蓄積

森林、農地、ため池の整備や適正な管理

間伐・作業道の開設

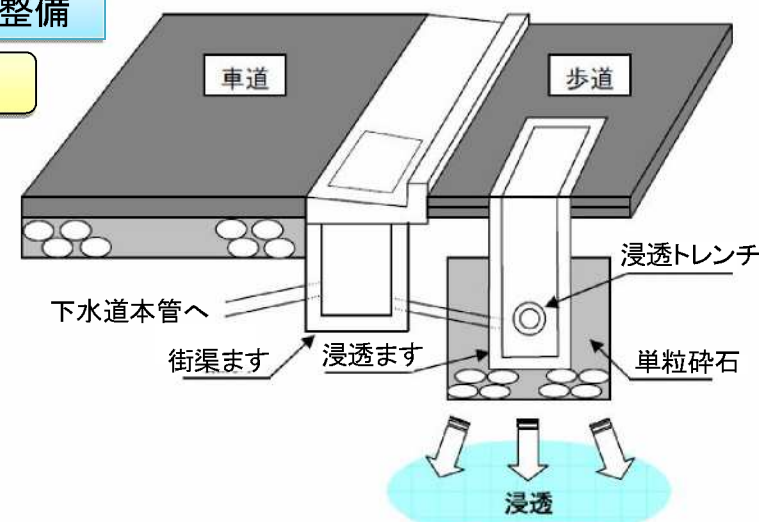


ため池の維持管理



貯留浸透施設の整備

道路側溝の浸透化



対策項目：動植物の生活環境の保全・再生

(「2つの原則」を適用した河川整備の実施箇所における対策)

対策の概要

対策概要：①下流部築堤区間における魚類等の移動の連続性の確保

②上流部における移動性が低い生物の移植対策やみお筋、瀬・淵の再生

「2つの原則」専門検討委員会で川づくり計画図を作成(平成24年8月)

①下流部築堤区間

干潟の創出



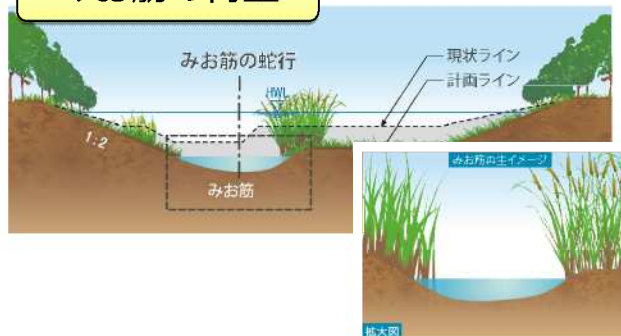
魚類等の移動の連続性を確保
(潮止堰の撤去)



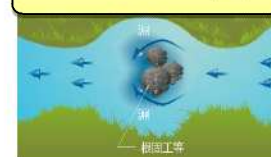
②上流部

- ・移動性が低い生物の移植対策
- ・みお筋の再生
- ・ワンド・たまりの再生
- ・代償措置としての瀬・淵やワンド等の創出
- ・瀬・淵の再生
- ・オギ群集の再生

みお筋の再生



R型淵の再生



ワンド・たまりの再生



オギ群集の再生



対策の概要

対策項目 : 天然アユが遡上する川づくり
対策概要 : アユの産卵場造成

アユの産卵場造成状況写真



魚道改良のイメージ



課題: 魚類の移動障害の改善に向けた魚道改良

4-25. 平成24年度の主な取り組み状況

- 良好な景観の保全・創出 -
- 人と河川の豊かなふれあいの確保 -

管理番号16
管理番号17

良好な景観の保全・創出

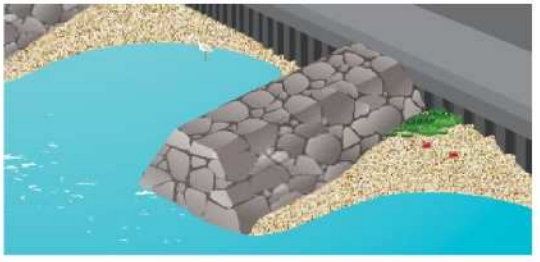
武庫川らしい景観の保全

オギ群落再生に向けた取り組み（現地表土の再利用）



魅力ある河川景観の創出、水辺とのふれあいの場創出

干潟創出の検討



下流部築堤区間

人と河川の豊かなふれあいの確保

地域住民等の理解を得るための広報

出前講座等の開催

地元自治会等を対象
に21回開催



インフォメーションセンターの設置



下流部の低水護岸工事に
に伴い高水敷に設置
(非出水期のみ)

4-26. 平成24年度の主な取り組み状況 - 水質向上 - - 維持管理 -

管理番号18
管理番号19

水質向上

- ・水質汚濁防止法に基づき水質・底質調査を継続

水質調査



底質調査



透明度調査



維持管理

- ・兵庫県河川維持管理計画に基づき効果的・効率的に維持管理を行う

河川内の樹木伐採・抜根



河川愛護活動

4-27. 平成24年度の主な取り組み状況 - 流域連携 -

管理番号20

対策の概要

対策項目 : 多様な主体が取り組む武庫川作りの支援 ①連携・交流のための機会提供
 取組概要 : 「みんなで取り組む武庫川づくり交流会」の開催 (平成25年3月20日実施)

交流会チラシ

みんなで取り組む武庫川づくり交流会 (入場無料)

「市民連携による「よりよい武庫川づくり」の実現を目指して」

本日は、地域共有の財産である武庫川を守り育てるため、「参画と協働」による武庫川づくりに取り組むこととしていきます。

この川づくりの実現には、武庫川に活動される皆さんの知見と協力、さらには、個々の活動の充実や、活動の場の確保などが重要と考えられています。

そのため、武庫川で活動される皆さんと共に学び、また、活動の場での交流を深めるとともに、市民連携に関する情報やニーズを把握しながら、次の展開を考えることが必要と考えました。

このたび、その第一歩として、「みんなで取り組む武庫川づくり交流会」を開催します。この交流会では、市民連携による地域社会活動者や武庫川の自然環境などについて学ぶとともに、活動の場での意見交換や意見交換を通じて、市民連携から発展的な市民活動や地域連携の必要性などについて考えます。

日時 2013年3月20日(祝) 13:30-16:00

会場 西宮商工会議所 別館 2階 大会議室
西宮市植木町2-20

場 料 約100名

主 要 主として武庫川流域内のNPO、企業、学生等の団体で活動されている方(個人参加も可)

申込方法: 事前申し込み下さい

申込締切: 2013年3月11日(水)

主 催: 兵庫県 農土整備部 土木課 武庫川総合治水室
策 画: 財団法人D・J・J建設創造協会

お問い合わせ・お申し込み先
 西宮市 市民連携推進課 市民連携推進係 市民連携推進係 担当: 香本 幸
 財団法人D・J・J建設創造協会 市民連携推進係 担当: 香本 幸
 TEL: 078-735-2728 FAX: 078-735-2292 Email: ondanki@djyogyo.jp



各団体の川づくりに関する取組内容や団体同士の連携のあり方について意見交換

4-28. 平成24年度の主な取り組み状況 - モニタリング - - フォローアップ -

管理番号21
管理番号22

モニタリング

河川水位観測状況
(低水流量観測)



河川監視カメラによる観測情報の公開

兵庫県 河川監視システム

モニタ場所 武庫川武田尾 (宝塚市玉瀬)

TAIKUOJI_MUROGAWA

2013/09/29 11:37:47

平常時の画像

現在の水位

水位表	5分間隔	10分間隔
	30分間隔	1時間間隔
水位		
月/日 時:分	水位 (m)	
09/20 11:00	0.43 →	
09/20 10:00	0.43 →	
09/20 09:00	0.43 →	
09/20 08:00	0.43 →	
09/20 07:00	0.43 →	
09/20 06:00	0.43 →	
09/20 05:00	0.43 →	
09/20 04:00	0.43 →	
09/20 03:00	0.43 →	
09/20 02:00	0.43 →	
09/20 01:00	0.43 →	
09/20 00:00	0.43 ↘	

凡例

- 水位上昇中
- 水位下降中
- 水位変化なし

兵庫県 河川監視システム 宝塚市玉瀬 宝塚土木事務所 管理2課
電話/0797-83-2203

フォローアップ

第2回フォローアップ委員会の状況



平成24年11月30日